

4 道教委の取組

◆ 検証改善サイクルの確立

学びのトランスフォーメーション推進事業 【エビデンスに基づく資質・能力育成事業】

事業趣旨

小中高を一体的に捉えた児童生徒の学力や学習状況等を踏まえ、学習指導要領の趣旨に基づく主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善や、ICTの効果的な活用について共通理解を図り、各学校の組織的な取組を推進し、児童生徒の資質・能力の育成を図る。

事業内容

○ 小中高の学力や学習状況等の経年変化、小中高間の連続性等の分析

- 全国学力・学習状況調査、CBA学力テスト、学習状況等調査に見られる本道の児童生徒の実態を把握・分析した報告書の作成
 - ・「CBA学力テスト、学習状況等調査結果報告書」（高校）
（道立高等学校第1学年のCBA学力テスト結果、学習状況を報告）
 - ・「入学者選抜実施状況報告書」（高校）
（入学者選抜の実施状況及び学力検査問題の分析結果を報告）
 - ・「全国学力・学習状況調査 北海道版結果報告書」（義務）
（結果分析に基づく授業改善等の方策や、管内別、市町村別の状況を報告）

○ チャレンジテスト及びCBA学力テストのCBT化（Google、MEXCBT）

- チャレンジテスト：全教科・全学年についてMEXCBTでの実施
 - ・4月～5月：前年度問題、6月～8月：1学期末問題、11月～1月：2学期末問題
- CBA学力テスト及び学習状況等調査：CBTでの実施
 - ・2月～3月

○ 本道の児童生徒の資質・能力の育成に係るEBE協議会の開催

- 組織的な授業改善や学力向上等に向けた体制整備、具体的な授業改善方法などの協議
 - 【5～7月】小中高の管理職等による組織的な授業改善や学力向上等に向けた体制整備に係る取組に関する実践発表及び協議
 - 【9～12月】小・中学校のミドルリーダーや高等学校の教務主任等による全国学力・学習状況調査結果等を活用した組織的な授業改善や学力向上等に係る取組に関する実践発表や協議
 - 【1～2月】小中高の管理職等、教育委員会や学校関係者、有識者による学力向上に係る施策やICTを活用した効果的な授業改善の検証などについて協議

■ 成果・課題

【成果】児童生徒の姿や地域の現状等に関する調査や各種データなどに基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立していると回答した学校の割合は、昨年度と比較して、小学校でほぼ同等、中学校で増加傾向にある。

【課題】小中高の学力や学習状況等の経年変化及び学校段階間の連続性等の分析を踏まえた授業改善が不十分であり、12年間を見据えた検証改善サイクルの確立に課題。

	校種	R6	R5
児童生徒の姿や地域の現状等に関する調査や各種データなどに基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立していると回答した学校	小学校	57.9%	58.4%
	中学校	57.6%	54.5%